

名古屋市民休暇村キャンプカウンセラーの会
委員長 小島 健 志 郎

御岳キャンプ場十周年おめでとうございます。心より喜び申し上げます。よく十年一昔といわれますが、人生にとって十年は決して短いものではありません。

この十年間、どれほどの人が御岳のキャンプ場でキャンプをしたことでしょうか。思い起せば私が初めてこのキャンプ場にきたのも15歳の時、数多いキャンパーの中の一人でした。その時以来、自然が豊富な御岳のキャンプ場と、さらには人間味あふれるカウンセラーの方々に魅了され、今では自分がキャンプカウンセラーとしてキャンプ場をとびまわっているのですから、とても不思議な気がいたします。そんな私が入会して、早くも三年、キャンプ場も十歳になりました。

御岳キャンプ場、この十年の歴史は、もちろん公社の方々の御協力と、諸先輩方の努力のたまものであり、私たちの活動もその上に立脚していることを心にしっかり刻みつつ、ここで改めて公社の方々並びに諸先輩方に謹んで御礼申し上げたいと思います。

この十年間の偉大な重みに負けることなく私たちは足跡をしっかり刻みつつ、十五周年、二十周年へと未来に向けて前進していきたいと思います。

井桁の会 会長 石川 隆 律

『御岳はなにも我々に与えてはくれない』

10周年パーティーに少々ふさわしくない出だしではありますが、10年（正確には11年）たってみて、一番の思ひは、この山は自分から何かしない者にはなにも与えてはくれないということです。

本キャン中は山で動かされ、現役中は山に生かされていた。現役中は現役なりに、OBはOBなりに、御岳に働き掛けなければ山はいつも目の前にあったという事実しか残らない。

そういう意味でOBとなつてからの我々には反省しなくてはならないことは多い。そして、君たち現役諸君にも。

10周年パーティーという華やかな席に水を差すようだが、決してこの10年全て喜べることはなかったし、抱える問題も多い。ただ、いろいろなことを含めてここまで来た、そのことでの10年という意義は大きいし、価値あることだと思います。

この10周年パーティーという今夜この時、大いに飲み、歌い、そして語ろうではないか。

この10年をひとつの節として、今までの反省を生かした20年、30年を目指しての道をやがてはOBとなる諸君と共に考えようではないか。

名古屋市民休暇村キャンプカウンセラーの会発足十周年記念にあたり、一言御挨拶申し上げます。

昭和48年5月18日の開村以来、10年あまりの歳月を経て、本年はキャンプ場も11回目の夏を過ごすことができ、その利用者も延べ10万5000人余になりました。その間大した事故もなく、市民のみなさんの要望にこたえることができるのは、皆様方の多大なる御協力のたまものと深く感謝申し上げます。

本日御集りの皆様方の中には、すでに卒業された方、まだ一シーズンしか経験されていない方がおみえになるわけですが、キャンプ場での経験を活かされて、それぞれの分野で活躍されていると確信しております。

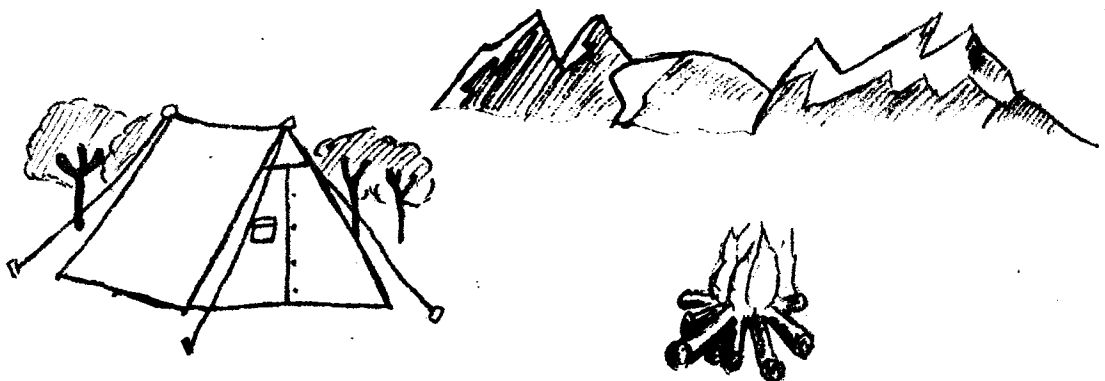
名古屋市民の山岳レクリエーション施設としての御岳休暇村キャンプ場の利用者も、本年度は開設当初の約2.5倍(13277人)となりました。

この利用者の増加に関してもキャンプカウンセラーの会の皆さん方の御協力があったのことも言うことができます。

特に昭和53年度より実施しております公社主催の『御岳こども村』についてはキャンプカウンセラーの皆さんに限らず、OG・OBの皆さんにもバスの添乗などで協力を賜り重ねて御礼申し上げます。

ここで十年のひとくぎりをつけたわけですが、これからも御岳休暇村キャンプ場は市民サービスの一環として市民の多様化する要望に答えていかなければなりません。

魅力あるキャンプ場を創りあげて行くために公社も努力してまいります。何としてもOG・OBの方々、そして現役のキャンプカウンセラーの皆さんの御協力、御理解がないと達成は不可能ですので、なお一層の御支援を御願いするとともに、この十周年記念行事をひとつのステップとして名古屋市民休暇村キャンプカウンセラーの会、井桁の会が今後ますます発展されることを願って挨拶にかえさせていただきます。



…… 十周年記念行事 プログラム ……

11月5日

17:30 受付

18:30 記念パーティー

・実行委員長挨拶

・委員長挨拶

・会長挨拶

・来賓祝辞

・乾杯

21:30 自由時間(セントラルロッジ泊)

11月6日

7:30 朝食

9:30 交流会(太陽の広場)

13:00 昼食

14:30 現地解散

